

# 「一生懸命」 幻の議会報告第35弾！



たかむらともや

2008年9月30日発行

## ③ 新座駅北口区画整理を考える

新座市民の皆さん。9月の定例会市議会では「新座駅北口の区画整理」が議題に上がりました。財政難だからと凍結していた事業をいよいよスタートさせようというのです。今回の市長選でも争点になりましたが、5期目に入った市長は「やる！」と決意を新たにしました。語る会「たかむら」は次の点からこの事業に反対します。

1. 総予算は128億ですが、今までの大型事業に見られるように、現在の見込み額を大幅に上回る可能性が高いのです。語る会「たかむら」では「新座駅北口の区画整理」が150億から180億の間になると予想しています。国からの補助金は20億、県からは9億。(これ以上は増えない)保留地処分金が23億。一方で市の一般会計から17億、市債35億、公共下水道に23億(この内市の負担は12億)この時点で64億もかかる計算になります。保留地処分金が少なくなる可能性も高いのです。市債の利子は10億以上。現在の新座市の財政力では無理な事業であることは間違いありません。

2. 下の地図を見て下さい。区画道路は複雑に入り組んでいます。こんな酷い区画整理は見たことがありません。市長は「良好な町並みを作り、担税力のある住民に住んでもらい、税収を上げる。」と言っていますが、こんな区画整理では担税力のある人たちが来るわけがありません。地権者の同意も得てないこの計画には無理が多すぎます。

3. 事業期間が長すぎます。現時点では平成25年から14年間の計画です。平成39年までは借金が増えていだけ。税金を期待できるのは平成40年以降。アメリカ発の恐慌に飲み込まれないようにするには、これ以上借金を増やしてはいけません。

\* 新座市の税収を増やすには教育力を高めていくことが一番だと思います。新座の子ども達、先生達の学習環境は余りにも悪すぎます。教育予算が少ないのです。学校のレベルが低い市に魅力はありません。教育予算を増やすことは今の子ども達にとっても未来の子ども達にとっても我々新座市民にとっても大きなプラスになるのです。

これが新座駅北口区画整理事業の計画道路

